

16のまちだアイ・ステートメント

1

私は、早期に診断を受け、その後の治療や暮らしについて、主体的に考えられる。

2

私は、必要な支援の選択肢を幅広く持ち、自分に合った支援を選べる。

4

私は、私の言葉に耳を傾け、ともに考えてくれる医師がいる。

5

私は、家族に自分の気持ちを伝えることができ、家族に受け入れられている。

7

私は、素でいられる居場所と仲間を持っており、一緒の時間を楽しんだり、自分が困っていることを話せる。

3

私は、望まない形で、病院・介護施設などに入れられることはない。望む場所で、尊厳と敬意をもって安らかな死を迎えることができる。

6

私の介護者は、その役割が尊重され、介護者のための適切な支援を受けている。

8

私は、趣味や長年の習慣を続けている。

9

私は、しごとや地域の活動を通じて、やりたいことにチャレンジし、地域や社会に貢献している。

12

私は、地域や自治体に対して、自分の経験を語ったり、地域への提言をする機会がある。

15

私は、支援が必要な時に、地域の人からさりげなく助けてもらうことができる。

10

私は、認知症について、地域の中で自然に学ぶ機会を持っている。

13

私は、認知症であることを理由に差別や特別扱いをされない。

11

私は、経済的な支援に関する情報を持っており、経済面で生活の見通しが立っている。

14

私は、行きたい場所に行くことができ、気兼ねなく、買い物や食事を楽しむことができる。

16

私たちも、認知症の人にやさしいまちづくりの一員です。

町田市では、認知症に関心をもつ人々が集まり、現在、認知症である「私」、これから、認知症になりうる「私」にとって、町田市がどのような地域であってほしいのか、目指すべき地域のあり方を16の文章にまとめ、活動のビジョンとしています。

この「16のまちだアイ・ステートメント」は、認知症の人をはじめ、認知症に関わる活動に参加する家族、医療福祉関係者、行政、民間企業、NPO、研究者など多くの市民の話し合いによって作られました。